

不稔米を発生させるイネカメムシの被害にご注意ください

イネカメムシの成虫



イネカメムシの幼虫



但馬管内でイネカメムシの発生が確認されました。7月9日～12日にかけて管内圃場ですくい取りした結果、一部の圃場で発生を確認し発生密度も高い状況です。(58圃場中11圃場で発生を確認)

イネカメムシは斑点米カメムシ類の一種で、特に出穂直後の稲穂を好み、**出穂期に籾を吸汁されると不稔米が発生し減収に繋がります。**

他の斑点米カメムシ類と異なり、穂揃い期以降ではなく**出穂始めに臨機防除することが重要**です。畦畔周辺だけでなく圃場全体をよく観察し、不稔米や斑点米の発生を予防するため、薬剤防除をお願いします。

◆主な水稻生育ステージ◆

- ・ 出穂始め…圃場内で初めて出穂が見られたとき
- ・ 出穂期…圃場内の40～50%の茎から出穂した日
- ・ 穂揃い期…圃場内の80～90%の茎から出穂した日

イネカメムシの被害



出穂期の水田に多発したイネカメムシ



イネカメムシの加害による不稔穂

これまでの斑点米カメムシ類との違い

	イネカメムシ	これまでの主要な斑点米カメムシ類
種類	 成虫  幼虫	 ウメシカメムシ  ホソシカメムシ  アカスジカメムシ
生態	- 越冬場所（林縁部など）から7月～8月の出穂前後に直接本田へ侵入し、吸汁や繁殖を始める - 出穂期に籾を吸汁されると不稔米が発生し、その後に吸汁されると斑点米となる	- 越冬場所から5月頃～畦畔や土手の出穂したイネ科雑草などに飛来し繁殖を始め、その後イネが出穂する頃から本田に侵入する - 籾を吸汁されると斑点米となる
防除適期	①臨機防除：出穂始め （圃場内で初めて出穂が見られたとき） ②通常防除：出穂7日～10日後	・通常防除：出穂7日～10日後

防除のタイミング



防除薬剤

薬剤名	使用量、希釈倍率	使用時期	使用回数
スタークル 粉剤 DL	3 kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
スタークル 粒剤	3 kg/10a		
スタークル 液剤 10	1,000倍：60～150L/10a 300倍：25L/10a		
スタークル 豆つぶ	250g/10a		

※粒剤は作物に吸収されるまでに数日かかります。防除を早めに実施しましょう。

**圃場でイネカメムシを発見された場合は、
すぐにNOSAI ひょうご豊岡事務所（TEL42-4133）にご連絡ください。**